



会長	副会長		庶務理事	会計理事
事務局長	課長	代理・係長	担当	受付
	中澤		西森	岡村

日医発第 2072 号 (生教)
令和 6 年 2 月 27 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長
松本吉郎

医師国家試験問題の公募について
ご協力のお願い

平素より本会生涯教育制度推進にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

さて、本会では医師国家試験問題作成を日本医師会生涯教育制度の学習方法の一つと位置付けているところです。今般、厚生労働省より、医師国試問題の公募についての協力依頼が本会に参りました。つきましては、別紙のとおり医師国試問題を募集いたしますので、貴会会員におかれましても、積極的にご応募くださいますよう、貴職の特段のご配慮をお願い申し上げます。

応募いただいた問題は、日本医師会において一括して厚生労働省 Web 公募システムに登録いたします。令和 5 年度の試験問題登録は 3 月 31 日 (日) までとなっておりますが、本会において問題を検討する必要がありますので、本会への提出は 3 月 21 日 (木) までをお願いいたします。なお、問題のご提出が締め切りに間に合わない場合は、次回の公募分といたしますので、あわせてご承知おきください。具体的な事項は別紙の通りですので、ご参照ください。

(添付資料)

1. 医師国家試験問題の公募について (協力依頼)

(令和 6 年 2 月 7 日医政発 0207 第 13 号厚生労働省医政局長通知)

- (1) 別添 1 中、(施設内での取りまとめ) が本会での取りまとめに該当します。
なお、「1. 趣旨」について十分ご理解いただきますようお願いいたします。
- (2) 別添 2 省略
- (3) 別添 3 欠

2. 日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書 (医師国家試験問題作成) は、
以下を参照のこと。

<https://med.or.jp/cme/about/youshiki.html>

医師国家試験公募問題作成について

1. 趣旨

医師国家試験問題については、全国の大学医学部・医科大学、臨床研修病院からの公募が開始されており、日本医師会にもお願いすることが、医師国試改善検討委員会で決定されている（平成15年4月17日）。

公募された試験問題は、厚生労働省内委員会でのブラッシュアップを経て蓄積され、良質な試験問題として出題されることになる。

地域医療に携わる経験豊富な日医会員も、生涯教育の一環として医師国家試験問題を作成し、わが国の良き医師養成に参加することを望みたい。

2. 取得単位・カリキュラムコード

会員が作成した試験問題は所属の都道府県医師会（郡市区医師会）に提出する。取得単位数については、1題1単位とし、年間の単位の上限は5単位までとする。カリキュラムコードは「0」のみ付与するものとし、2題以上作成した場合でも同様である。グループで作成されたものについても1人1単位（CC0）を付与する。

3. 出題範囲と出題形式

出題範囲と出題形式は以下（1）～（3）のとおりとする。

なお、遵守されない問題は、お送りいただいても Web 公募システムに登録できないので、特に留意されたい。

（1）出題範囲は、「令和6年版医師国家試験出題基準」の以下の①②からとする。

●令和6年版医師国家試験出題基準

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000128981_00001.html

※いちばん下に「全体版」が掲載されています。

① 必修の基本的事項

② 医学総論

I. 保健医療論

II. 予防と健康管理・増進

（2）出題形式は、Aタイプ（5肢1択形式）とする。

（3）一般問題、臨床実地問題のいずれかとし、どちらを選択したかを明記する。長文問題は選択しない。

4. 会員の応募問題のとりあつかい

- (1) 都道府県医師会は、会員が応募した問題を取りまとめ、日医生涯教育課宛に郵送する。
- (2) 都道府県医師会（郡市区医師会）は、出題者名を記録し、当該出題者につき、その年度の生涯教育申告データに取得単位（年間上限5単位）・カリキュラムコード「0」を加算・記録する、あるいは、「日本医師会生涯教育制度」実施要項に示す別紙9（様式見本A）を参考に、「日本医師会生涯教育制度における単位取得証明書（医師国家試験問題作成）*」を出題者に交付する。

※ <https://med.or.jp/cme/about/youshiki.html>

- (3) 日医は都道府県医師会から郵送された問題を検討する。検討した問題を厚生労働省 Web 公募システムに登録する。出題範囲と出題形式は、「3.」の（1）～（3）のとおりとし、遵守されない問題は前記 Web 公募システムに登録できないが、「2.」および「4.」の（2）に定める単位・カリキュラムコードを付与することは差し支えない。
なお、取得できる単位・カリキュラムコードは「2.」に示すとおりであるが、申告時の誤りが散見され、集計作業に支障を来しているため、よく確認すること。
- (4) 前回の公募問題作成依頼（令和2年9月17日付け日医発第699号（生61））の際に本会に提出いただいた分の後に本会に到着した問題については、今回、本会において Web 公募システムに登録する（ただし、3. に掲げる事項を遵守している問題に限る）。

5. 日医への提出締め切り

厚生労働省への登録期限が令和6年3月31日であるため、日医への問題の提出は、令和6年3月21日（木）までとする。

6. 問題の提出が締め切りに間に合わない場合

問題の提出が締め切りに間に合わない場合は、次回の公募分とする。なお、日本医師会生涯教育制度では、医師国家試験問題作成を学習方法の一つと位置付けており、時期を問わず医師国家試験問題作成を行っていただきたい。その場合の取扱いは「4.」の（2）に定めるとおりである。

医政発 0207 第 13 号
令和 6 年 2 月 7 日

公益社団法人日本医師会長 殿

厚生労働省医政局長
(公 印 省 略)

医師国家試験問題の公募について (協力依頼)

医師国家試験につきましては、平素より格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
厚生労働省では医師国家試験の質の向上を図るため、また、多様な観点からの出題を推進するため、全国の大学医学部・医科大学、臨床研修病院及び公益社団法人日本医師会に対し、試験問題及び視覚素材（写真、放射線画像等）の公募へのご協力をお願いしております。基本的臨床能力を問う質の高い問題を国家試験に出題するためには、諸先生方のご協力が是非とも必要なことから、別添の「医師国家試験の公募について」等をご覧いただき、試験問題及び視覚素材をご提供いただきますようお願い申し上げます。

ご多忙とは存じますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【送付資料】

- 別添 1 医師国家試験問題の公募について
- 別添 2 Web 公募システムの利用方法
- 別添 3 公募問題担当者登録用紙

医師国家試験問題の公募について

1. 趣旨

- (1) 厚生労働省では、医師国家試験改善検討部会報告書（平成 23 年 6 月 9 日）等を踏まえ、多様な観点からの出題を推進するため、積極的に公募問題の活用を行うこととしております。つきましては、試験問題及び視覚素材の提供に是非ご協力ください。
- (2) 問題作成時には、医学生が臨床実習に主体的に取り組んだ場合に経験可能な事項や、卒後臨床研修で実際に対応が求められる状況について、具体的に想定いただきますようお願いいたします。また、列挙された特徴的なキーワードから疾患名を想起させるのではなく、症候から優先順位を考慮しつつ鑑別診断を進めていくという臨床医の思考過程に沿った問題を作成いただきますようお願いいたします。
問題作成上の留意事項については、Web 公募システム上で「医師国家試験公募問題用 作成マニュアル」を閲覧いただけますので、ご参照いただきますようお願いいたします。
- (3) 視覚素材（写真、放射線画像等）については、基本的臨床能力の観点から重要かつ典型的な素材を、可能な限り高い解像度でご提供いただきますようお願いいたします。

2. 登録手順等

